

南海林間田園都市・隅田A地区において 工業団地の共同開発事業(第1次事業)に参画します

南海電鉄(本社:大阪市浪速区、社長:遠北 光彦)では、和歌山県橋本市に所有する「南海林間田園都市・隅田A地区」第2期用地(約140ha)において、和歌山県(知事:仁坂 吉伸)および橋本市(市長:平木 哲朗)と協力して、工業団地の開発を進めます。

東日本大震災以降、内陸部の企業用地へのニーズが増大するとともに、紀北橋本エコヒルズなど和歌山県内への堅調な企業進出や京奈和自動車道の整備が進展する中、三者で協力して新たな工業団地の開発に向けた基本協定を締結し、その実現について調査・検討を進めてきました。

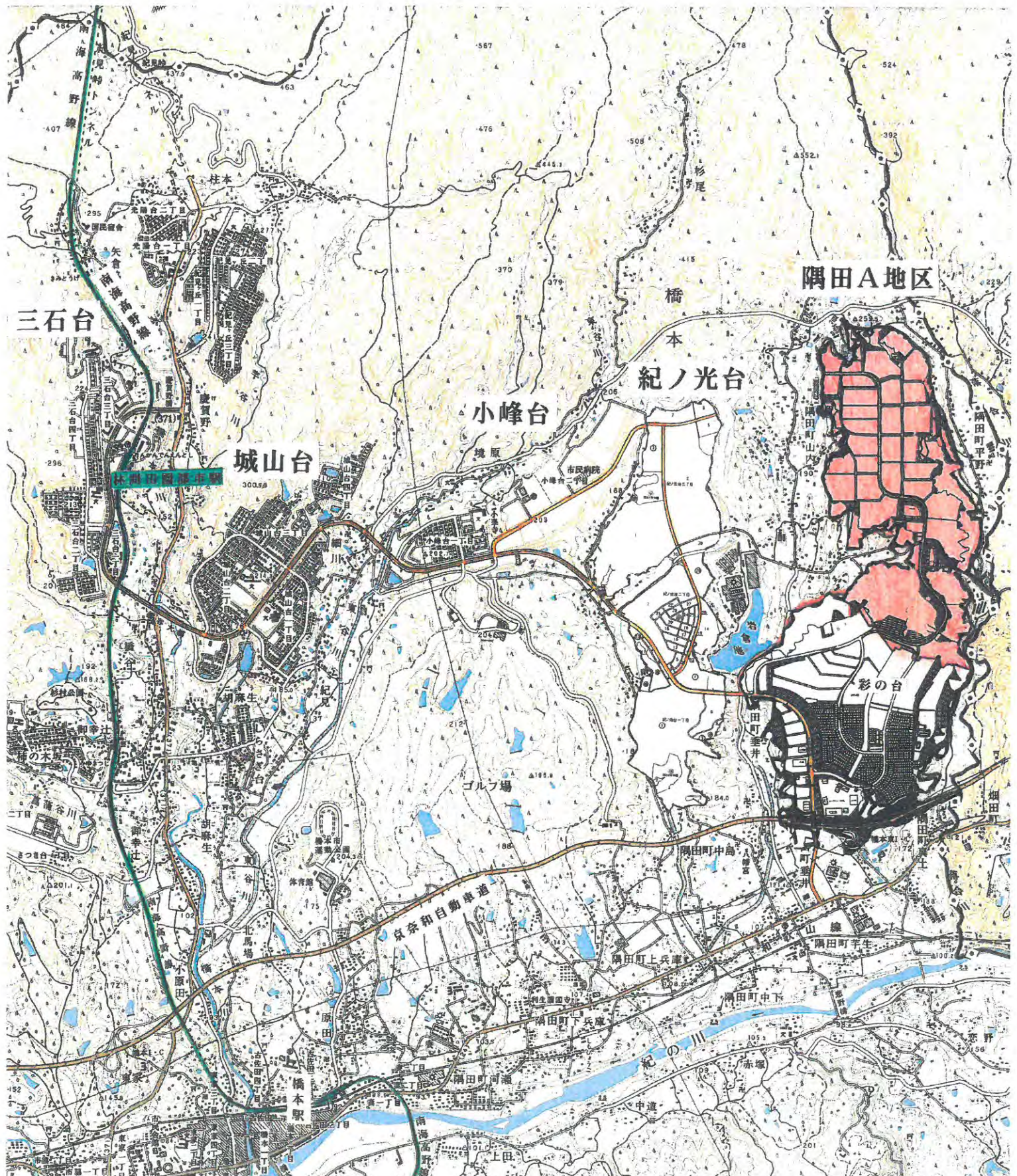
このたび、同用地内南側に関して細目協定を締結し、橋本市を事業主体とする工業団地の共同開発事業(第1次事業)に参画することで合意しました。

第1次事業の詳細は、以下のとおりです。

1. 所在地 和歌山県橋本市隅田町
2. 販売面積 約29ha
3. 事業費 約50億円(消費税等除く)
4. 事業者 南海電気鉄道株式会社(36%)、和歌山県(32%)、橋本市(32%)
※括弧内は、事業費負担割合。
5. スケジュール 平成27年以降 環境アセスメント・許認可取得
平成30年以降 造成工事(第1次事業)着工
6. 調印式 平成28年2月29日(月)14:30~(和歌山県庁知事室にて)
[出席者] 和歌山県知事 仁坂 吉伸
橋本市長 平木 哲朗
南海電気鉄道株式会社 取締役社長 遠北 光彦

以上

別紙① 「位置図」



別紙② 「基本計画図」

